

# CAD情報

## クラウド時代のレビューツール『AutoCAD WS』 『AutoCAD LT』拡販にも効果大

オートデスクは、クラウド技術を利用したリアルタイムコラボレーションツール AutoCAD WS(以下、WS)をリリースした。図面データをクラウド上にアップし、どこでも閲覧や編集が可能なWSは、ユーザのニーズも高く、モバイル版だけでも既に60万ダウンロードに達している。AutoCAD WSはAutoCAD LT拡販のための大きなメリットとなるだろう。

### ブラウザですぐにDWG図面を共有! AutoCAD WS

AutoCAD WSは、オートデスクが提供するクラウド上のサーバスペース、「www.autocadws.com」にアップロードした図面をリアルタイムで複数人が閲覧・編集できるサービスだ。AutoCADがなくてもWebブラウザとインターネット接続環境があればiPadやiPhoneといったモバイル機器でもAutoCAD図面を閲覧・編集できる画期的なクラウドサービスで、クラウド版のDesignReviewやDWG True Viewといえる。

マーケティング開発部門マネージャの田中 ゆかり氏は、「WSは、『いつでも・どこでも・誰とでも』をキーワード

にオートデスクが無償で提供しています。無償の理由は、一人でも多くの人に、クラウドでDWGの図面を流通させることの便利さを体感してほしいからです」と話す。

設計者は、最新のAutoCADやAutoCAD LT(以下、LT)に、無償のプラグインをインストールするだけで、設計環境とWSをシームレスに連携させることができる。WSでは、図面共有したい相手にメッセージを送ることができ、レ



オートデスク株式会社  
プラットフォームソリューション兼  
社会・公共ソリューション  
マーケティング開発部門マネージャ  
田中 ゆかり氏

オートデスク株式会社  
プラットフォームソリューション  
インダストリーマーケティング  
マネージャ  
清水 卓宏氏

ビューワーはこのメッセージに記載されたURLリンクをクリックするだけで、すぐに設計コラボレーションに参加できる。WSの共有機能と連動しているチャット機能を使えば、会話しながら共同で編集や確認作業ができ、やり取りの履歴がメールで送信されるので行き違いもなく安心だ。

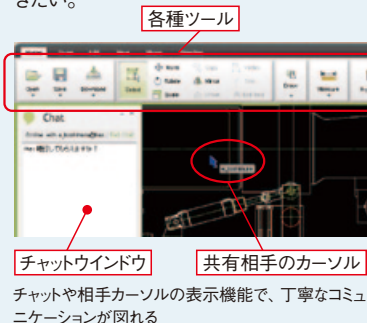
WSは図面管理の上でも手間いらずだ。WSで行った修正は時間軸に沿って自動で履歴が保存され、タイムライン機能でいつでも任意の時点の図面を

### ■ オートデスクのクラウド技術が設計のワークフローを変革する



### ■ クラウド上で図面を共有・編集できるAutoCAD WS

AutoCAD WSは、アカウントを作成すればすぐに利用開始できる。エンドユーザ様へAutoCAD LTと合わせてご提案いただきたい。



## 最新バージョンへのアップグレードで作業時間を大幅に短縮!

〔AutoCAD LT 2011生産性調査〕より

## PDFアンダーレイ機能を活用!

LT 2008

39分

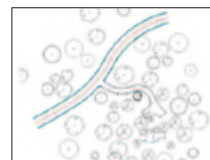
LT 2011

3分

92%向上

配置図(PDF)に  
既設建物の平面図を配置

PDFアンダーレイの機能を使うことで、PDFのスキャンやトレースの必要がなくなり、大幅な時間短縮が可能となった。



## 属性の検索・置換で情報を簡単に更新

LT 2008

44分

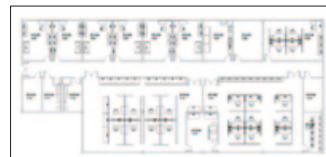
LT 2011

15分

66%向上

12種類、148個の家具の属性変更と  
価格情報を追加

既存ブロックに属性を追加して、各ブロックのすべてのブロック参照を置き換えることなく、属性情報を簡単に更新できる。



「AutoCAD LT 2011 生産性調査」の詳細は→

<http://www.autodesk.co.jp/autocadlt>AutoCAD LTでは  
こんな機能が好評です!

昨秋行われた、「Autodesk University Japan」において、AutoCAD LT 2011に搭載されている機能から、特に効率化に優れた機能を紹介した。複数回答で好評を得た「使いたい」機能を順に並べたのが以下の表だ。時間短縮に役立つ機能の紹介を、ぜひセールストークとしてお使いいただきたい。

セミナー参加者に聞きました! AutoCAD LT 2011 使いたい機能 **トップ10**

|    |                     |     |                       |
|----|---------------------|-----|-----------------------|
| 1位 | PDFアンダーレイ           | 4位  | 位置合わせコマンド             |
|    |                     | 5位  | ポリライン・ハッチングのグリッ編集     |
| 2位 | クイック寸法、<br>寸法線の間隔調整 | 6位  | クイック計算機               |
|    |                     | 7位  | ハッチングの背景色、透過性、グラデーション |
| 3位 | 異尺度対応               | 8位  | 画層管理パレット、画層復元         |
|    |                     | 9位  | ダイナミックブロック、ブロックエディタ   |
|    |                     | 10位 | 選択表示・非表示、追加、類似選択      |

参照できるのだ。これらの図面はすべてクラウドサーバ上に保存されているため、紙図面の山から必要な図面を探したり、大量の印刷図面を確認作業のために持ち運んだりする労力と手間を大幅に削減できる。

田中氏は、「WSは、プロジェクトの関係者がどこにいても、クラウド上の図面をレビューできるだけでなく、同時に複数の関係者が同じ図面をみながら、簡単な編集や確認を行えることが特長です。リアルタイムで設計コラボレーションができ、意志決定が格段に速くなります」とメリットを強調する。

長年のユーザーニーズを高いレベルで実現したWSは、AutoCADやLT販売時の大きなフックとなる。

LTのバージョンアップが  
人件費削減・時間短縮につながる

WSを活用するには最新のLTを利用

することが大きなメリットとなる。つまり、WSはLT拡販のための起爆剤なのだ。

WSによる図面データの共有が一般化すると、「誰が見ても分かる図面」の作成が必須となる。

「例えば、支給されたExcelファイルに数式が埋め込まれていたり、Wordにスタイルシートが使われていたりしても、そうした機能を知らなければデータを共有できても共同編集ができず、どうにもなりません。一般的に他人の図面はわかりづらいものですが、WSでコラボレーションの効率化を図るには、共通認識に基づいた図面づくりが必要です。それが簡単に行える最新のLTとあわせてのご利用が効果的です」とインダストリーマーケティングマネージャの清水 卓宏氏は話す。

「お客様の中には、『うちはヘビーな使い方をしていないから前のバージョンでいいよ』とおっしゃるところもありま

す。しかし、最新版ならワンステップでできることに大きな手間を掛けているのではないのでしょうか。LT 2008とLT 2011の比較で約44%の効率アップという調査結果があります。それ以前のバージョンからなら、効果はもっとあがります」と清水氏。

特に、LTは、Windows 7環境で最高のパフォーマンスを発揮するため、今年期待されるXPから7へのリプレースと同時にAutoCAD LTもご導入いただけるよう提案していただきたい。

更新率が高い  
サブスクリプションの提案が  
パートナー様の継続的な収入に!

オートデスクの最新のテクノロジーを低コストで利用できるサブスクリプション契約は、エンドユーザー様の更新率が高いことで定評がある。AutoCAD LT販売時に、ぜひエンドユーザー様におすすめていただきたい。

常に最新版を利用できる!